

中期計画策定について

2025年1月

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

課題意識とこれまでの経緯

課題意識と経緯

- 分科会活動が活発化した結果として「横ぐし」の議論をすべきという声が上がった(2024年年度計画の第1点目)
- 2024年には、IMM企画・コンテンツ運営委員会を設置し、運営委員会・分科会座長副座長・オブザーバーメンバーで年度後半、横ぐしの議論を深めて来た

横ぐし・横断的テーマ

- WL会合/コンテンツ運営委員会にて、横ぐし・横断的テーマとして特定されたのは以下の6点
- ①「システム」をめぐる議論への対応 /②インパクトと企業価値の関係性 /③アセットクラス間の連携 /棲み分け/④官民連携 /⑤インパクトファイナンス人材育成 /⑥IDFIの重点課題・TOC

議論の進め方について

- 上記テーマ関する今後の議論の進め方について、コンテンツ運営委員会での意見は以下。
 - 横串議論のテーマを分科会で行うにしても、論点が不明確なまま進めるべきではない
 - まずはIDFIとして今後どのような活動にフォーカスするのかを、TOCのレベルで検討することが第一優先
 - IDFIとしてのアウトプットを明確にするべき
 - 各分科会の進歩を共有しあう場が必要
 - 裾野を広げる/高度化のバランスも検討が必要(コンソとの棲み分け含め)
- 以上を踏まえ、改めてビジョンとTOCに基づき、IDFIとして中長期でどのような活動を行うのか、何を目的としてどのようなアウトプットを出していくべきかを早期に議論する必要があると認識した＝年度計画ではなく、中計レベルの見直しが必要と判断
- 本来、現中計は2025年12月までであるが、すでに改訂すべき論点も見え始めていることから、本来の2025年1月開始ではなく、2025年度の半ばまでに中計をアップデートするスケジュール感で進める方向性で検討する

中期計画(2023年～2025年12月)の振り返り

11月WL会
合資料

- Green: 予定通り達成見込み
- Yellow: 一部未達の可能性あり
- Red : 達成が難しい可能性あり・要議論

	活動内容	優先度	達成見込み	補足説明	
1	インパクトファイナンスの実践を支援する包摂性の高い活動を継続する	署名機関間の情報共有やピアラーニングによる実践の悩み解決、実践の蓄積、象徴的事例の創出	○	●	
		海外の最新動向やフレームワークの紹介	○	●	
2	先進事例・データ・ツールを意欲的に収集・分析し、指標や指針を開発する	先進事例の情報収集・共有(クロスオーバー投資や非上場・上場の連結の好事例、IMMや開示の好事例等)	○	●	
		インパクト関連データの整備・作成・集約・公開※)	△	●	
		参加金融機関のベンチマーク調査(IMM実践等)・ピアレビュー	△	●	但し公開について要審議
		社会性指標の開発、基準や指針の整理、コンセプト開発	○	●	
3	人材の育成を推進する	金融機関がインパクトファイナンスを推進していくために必要な多様性ある人材の育成、確保	○	●	
4	活動内容や成果、インパクト創出事例を定期的・戦略的に発信する	活動内容や成果に関する情報発信(対金融業界、対事業会社、その他対マスメディア向け)	○	●	
		インパクト大賞、認証制度の創設	△	●	
5	戦略的エンゲージメントを推進する	対金融機関内部(金融機関経営者を含む)とのエンゲージメント	○	●	
		対政策立案者(政府・自主規制機関)、資金の出し手(個人、年金基金)、投資先、証券会社等とのエンゲージメント	○	●	
6	プラットフォーム運営・活動基盤を強化する	自走化計画の策定・移行	○	●	
		ガバナンスや運営規定の策定、情報蓄積・共有の仕組み構築、ブランド力の強化、包摂性の維持、あたらしい金融の在り方検討	○	●	

中期計画策定の進め方

まずはフェーズ1として、宣言のTOCレベルの議論を行い、それを基にフェーズ2で中期計画へと落とし込む

フェーズ1: 宣言の TOC

論点

- IDFIの掲げるVisionの実現に向けて、誰にどのような行動変容を起こしていくべきか？

フェーズ2: 中期計画

- TOC実現のために、IDFIは具体的にどのような活動を行い、どのような成果(アウトプット)を出していくべきか？

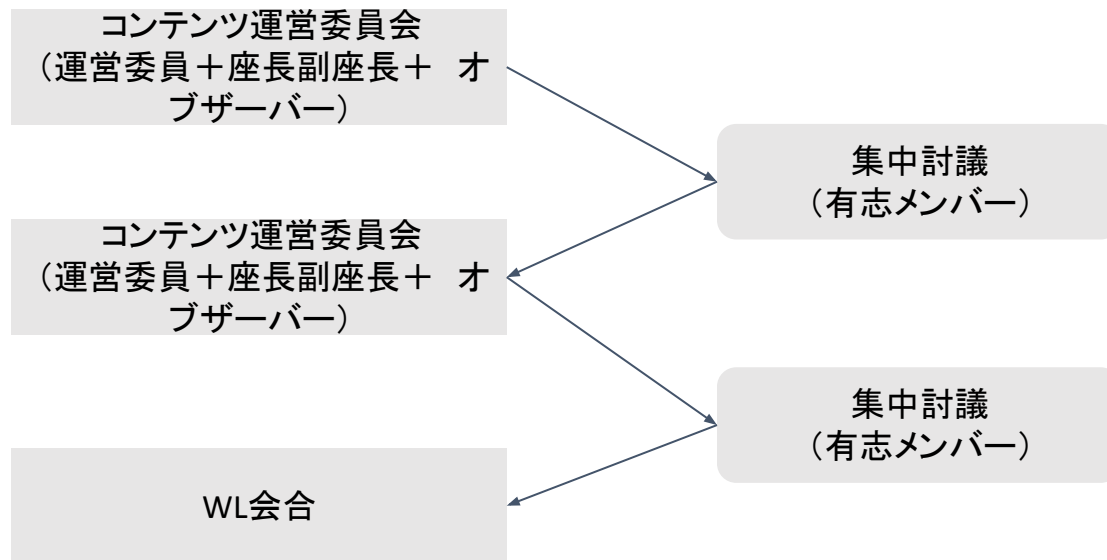
検討スケジュール

- 1月末～2月上旬: 事前アンケート実施
- ~2月中旬: アンケート集計・論点整理
- 2/17: コンテンツ運営委員会
- 3月上旬: TOC集中討議(第一回)
- 3/17: コンテンツ運営委員会
- 3月下旬: TOC集中討議(第二回)
- 4月上旬～: 事務局にて取りまとめ及び意見招集(書面にて)
- 4/24: WL会合にて最終合意

- 4月下旬～5月上旬: 事前アンケート実施
- ~5月中旬: アンケート集計・論点整理
- 5/18: コンテンツ運営委員会
- 5月下旬: 中期計画集中討議(第三回)
- 6/16: コンテンツ運営委員会
- 6月下旬: 中期計画集中討議(第四回)
- 7月上旬: 事務局にて取りまとめ及び意見招集(書面にて)
- 7/24: WL会合にて最終合意

集中討議の参画メンバー

TOCの策定及び中期計画の策定のために計4回の集中討議を行う。この議論の場では、コンテンツ運営委員会の参加メンバーに限らず、積極的に議論に参加いただける方を有志で募るのはいかがでしょうか



中計のアップデートスケジュール



TOC策定に向けた事前アンケートの質問項目 骨子

アンケートフォーム

1. 直近2-3年のインパクト・ファイナンスを取り巻く主な動向 GSGの現状レポート参照)をご覧ください。最も注目に値すると感じた出来事は何ですか。またその理由について、この出来事がどのようにインパクト・ファイナンスの今後に影響を与えうるかという観点からお書きください。
2. 上記の動向を踏まえて、ご自身の置かれている立場において、どのような取り組みを実施していくべきだとお考えですか。
 - 「置かれている立場」とは、インベストメントチェーンにおけるプレーヤーとしての立場アセットオーナー、VC、上場投資家・未上場投資家、銀行、証券会社、保険会社、年金運用機関、インパクト企業(上場未上場)、評価機関・・・など)のことを示します。
 - また、さらに当該組織における役職としての立場経営層の立場、推進部隊の立場、実務者の立場など)からの課題感もあれば、合わせてお書きください。
3. これまで行ってきたDFIの活動をこのまま継続してだけで、宣言の描くビジョンは実現されるとお考えですか。
4. 上記で「あまりそうは思わない」「全くそう思わない」とお答えになった方は具体的にどのような点がボトルネックになっているとお考えですか。インパクトファイナンスの今後に対する危機感や焦燥感の背景にある懸念や課題感をお書きください。